

圧 送 管 布 設 工 事
174-3路線

数 量 計 算 書
(圧送管 ϕ 50本設)

令和 8 年 1 月

目 次

1. 総括表	1
1.1 土工	2
1.2 管布設工	3
1.3 付帯工	4
2. 土工	5
2.1 土工集計表	6
2.2 土工単位数	7
2.3 土工定規図	8
2.4 掘削深計算表	9
3. 管布設工	10
3.1 布設工数量調書	11
3.2 切管調書	12
4. 付帯工	13
4.1 マンホールポンプ付帯工	14
4.2 マンホールポンプ付帯工図	15

1. 総括表

2. 土 工

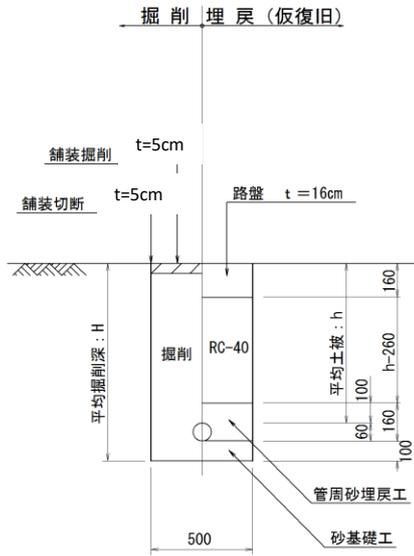
【 圧 送 管 数 量 計 算 書 】

174-3路線

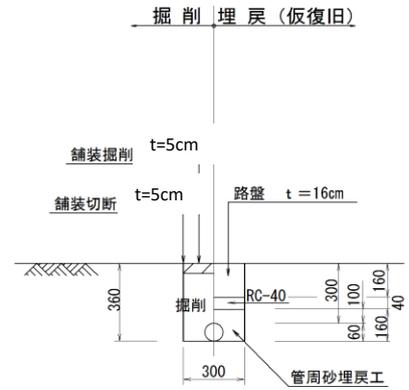
項 目	計 算 式	数 量
単位数量 B-1(舗装)	98.02	98.02 m
掘削土	$0.50 \times (0.824 - 0.04) \times 98.02 =$	38.42 m^3
基礎工(砂)	$0.50 \times 0.10 \times 98.02 =$	4.90 m^3
埋戻土(砂)	$(0.50 \times 0.160 - \pi / 4 \times 0.06^2) \times 98.02 =$	7.56 m^3
埋戻工(RC-40)	$0.50 \times (0.824 - 0.26 - 0.16) \times 98.02 =$	19.80 m^3
残 土	38.42	38.42 m^3
舗装仮復旧工		
舗装切断工 t=5cm	$98.02 \times 2 =$	196.04 m
舗装取壊	$0.50 \times 98.02 =$	49.01 m^3
路盤(RC-40) t=16cm	$0.50 \times 98.02 =$	49.01 m^2
残塊処理(As)	$0.50 \times 0.05 \times 98.02 =$	2.45 m^3
舗装本復旧工		
舗装切断工 t=5cm	舗装復旧平面図より $6.50 + 2.40 + 2.60 =$	11.50 m^3
舗装取壊	$(311.30 - 0.50 \times 98.02 - 0.30 \times 70.10) =$	241.26 m^2
掘削土	$0.50 \times 0.05 \times 98.02 + 0.30 \times 0.30 \times 70.10 =$	8.76 m^3
埋戻工(RC-40)	$(0.30 \times 0.14 + \pi / 4 \times 0.06^2) \times 70.10 =$	3.14 m^3
残 土	8.76	8.76 m^3
残塊処理(As)	$(311.30 - 0.50 \times 98.02 - 0.30 \times 70.10) \times 0.05 =$	12.06 m^3
路盤(RC-40) t=12cm	$0.30 \times 70.10 =$	21.03 m^2
表層工 t=5cm (再生密粒度アスコン13)	311.300	311.30 m^2
不陸整正		241.26 m^2

土工定規図

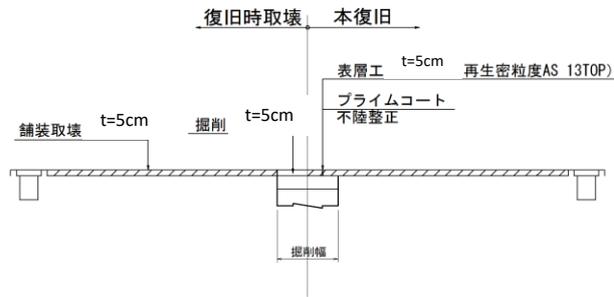
土工B-1
(本設)



土工B-2
(仮設)



舗装本復旧
(道路幅 5 m以下)



3. 管 布 設 工

φ50圧送管布設工数量調書 (174-3)

測点	水平距離	管体距離		資材											布設工					
		追加距離	単距離	ポリエチレン管 φ50											PE管布設工	EF継手工		PE管切断工	フランジ継手工	メカニカル継手工
				直管5.0m/本	切管	11 1/4° 曲管	22 1/2° 曲管	45° 曲管	90° 曲管	カラー	フランジ短管	可とう管	キャップ	流入プレート	φ50	2口	1口	φ50	φ50	φ50
m	m	本	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	m	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	
6.150	0.925	0.925	0.925							1				0.925	1		1			
	5.925	5.000	1											5.000						
3.000	6.375	0.450					1		1					0.450	1					
	8.925	2.550		2.550					1					2.550	1		1			
31.350	9.375	0.450					1		1					0.450	1					
	10.325	0.950		0.950					1					0.950	1		1			
	40.325	30.000	6						6					30.000	6					
1.060	40.775	0.450					1		1					0.450	1					
	41.385	0.610		0.610					1					0.610	1		1			
54.960	41.835	0.450					1		1					0.450	1					
	46.435	4.600		4.600					1					4.600	1		1			
	96.435	50.000	10						10					50.000	10					
0.950	96.785	0.350			1				1					0.350	1					
	97.370	0.585		0.395					1					0.585	1		1			
	97.560	0.190		0.190						1				0.190		1		1		
合計	97.470	97.560	17	10.220	1		4		27	1				97.560	27	1	6	1		

4. 付 帯 工

マンホールポンプ付帯工

項目	計 算 式	数 量
既設マンホール蓋撤去工	$43\text{Kg}(\text{蓋枠含む}) \times 1 =$	43 Kg
調整リングφ600撤去工	$59\text{Kg} \times 1 =$	59 Kg
斜壁(φ600 H=450)撤去工	$310\text{Kg} \times 1 =$	310 Kg
マンホールステップ撤去工 W=300	7	7 個
止水プラグ φ200		
M174-2-1(本設)	1(埋め殺し)	1
M174-1-2(仮設)	2(1個は仮排水管用ポンプ稼動時のみM174-2-1に流用)	2
	計	3 個
止水プラグ設置・撤去工		
設置工	M174-2-1(本設) 1+1= M174-122(仮設) 2+1=	2 3
	計	5 ヶ所
撤去工	M174-2-1(本設) 1 M174-122(仮設) 2+1=	1 3
	計	4 ヶ所
砂充填工		
ユニットマンホール間砂入れ 砂	隙間断面積 円周長さ $0.048 \times 0.85 \times \pi =$	0.13 m3
超速硬コンクリート工		
人孔底部嵩上部 24-12-20	$\pi/4 \times 0.90^2 \times 1.158 + \pi/4 \times 0.175^2 \times 0.90 \times 1/2 =$	0.75 m3
副管部 24-12-20	$\pi/4 \times 0.15^2 \times 0.50 =$	0.01 m3
コンクリート工		
副管部 18-8-25	$\pi/4 \times 0.15^2 \times (1.445 + 0.275) =$	0.03 m3

マンホールポンプ付帯工図

